

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許協会の分類)		IPC)	
Int. Cl. C12Q1/66, C07K14/72, G01N33/15, 33/50, A61K31/10			
B. 調査を行った分野			
調査を行った最小限資料 (国際特許協会の分類)			
Int. Cl. C12Q1/66, C07K14/72, G01N33/15, 33/50, A61K31/10			
最小限資料以外の資料で調査を行った分野		のもの	
国際調査で使用した電子データベース		その名称、調査に使用した用語)	
WPI/Biosis (E), EMBL/Genbank		GenSeq, SwissProt/PIR/GenSeq	
C. 関連すると認められる文献			
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び 出典	関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X/Y	WO 02/40000 (LTD.) 2002.01.01 & JP 3-40000	1 (YAMANOUCI PHARMACEUTICAL CO., LTD. 1338651 A1) 12	1-7/6-7
Y	Kemp D.A., et al. like peptide-1 (C) in INS-1 cells: a Biochemical Enzyme	effect of dimethyl sulfoxide on glucagon-like insulin secretion and gene transcription and implications. August 2002, Vol.64, No.4, p.689-697	6-7
<input type="checkbox"/> C欄の続きにも文献が列挙される		<input type="checkbox"/> パテントファミリーに関する別紙を参照。	
<p>* 引用文献のカテゴリー</p> <p>「A」 特に関連のある文献ではないもの</p> <p>「E」 国際出願日前の日に公表された文献</p> <p>「L」 優先権主張に疑義を提起する文献 (理由を付す)</p> <p>「O」 口頭による開示</p> <p>「P」 国際出願日前で、公表された文献</p>			
国際調査を完了した日		国際調査報告の発送日	
		21.10.03	
国際調査機関の名称		特許庁審査官 (権限のある職員)	
日本国特許庁		北村 弘樹	
郵便番号		4B 9349	
東京都千代田区		電話番号 03-3581-1101 内線 3448	

第I欄 請求の範囲の一部が特許法第8条第3項(PCT規則39.1(iv))に該当しなかった。

1. ☒ 請求の範囲 0 つまり、

請求の範囲「0」に該当する。

2. ☒ 請求の範囲 0 ない国際出願の範囲に

明細書には、0 ない。よって、請求の範囲に開示された物質の調査ができない。

3. ☐ 請求の範囲 0 従って記載さ

（第1ページの2の続き）

この国際調査報告は次の理由により請求の範囲の一部について作

国際調査機関が調査をすることを要しない対象に係るものである。

PCT規則39.1(iv)の「人の身体の手術又は治療による処置及び診断方

な国際調査をすることができる程度まで所定の要件を満たしてい

「ペプチドを活性化する物質」として具体的なものが数例しか記載されてい

請求の範囲であってPCT規則6.4(a)の第2文及び第3文の規定に

第II欄 発明の単一性

（第1ページの3の続き）

次に述べるようにこ

この国際調査機関は認めた。

1. ☐ 出願人が必要

最初に納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求

2. ☐ 追加調査手数料

すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追

3. ☐ 出願人が必要

期間内に納付しなかったため、この国際調査報告は、手数料の納

4. ☐ 出願人が必要

しなかったため、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載

追加調査手数料の異議

☐ 追加調査手

申立てがあった。

☐ 追加調査手

申立てがなかった。